

画セミナーの第2回目にあたるもので、アジア諸国の家族計画行政指導者（政府高官）が、タイ、アフガニスタン、フィリピン、韓国、ベトナム、インド、セイロン、インドネシア、イラン、シンガポール、台湾、ネパール、マレーシアの11か国から17名、日本政府によって招かれ、討議に参加したが、本研究所から所長 館 稔技官が講師として出席した。（青木尚雄記）

第16回国際連合人口委員会

1971年11月1日から同12日まで、ジュネーブのバレ・デ・ヂシオンにおいて、第16回国際連合人口委員会 (Sixteenth Session of the Population Commission) が開催され、本研究所人口移動部長である黒田俊夫委員が日本政府代表としてこれに出席した。なお、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部の渡辺修二等書記官が代表を補佐した。

現在、国連人口委員会は27か国をもって構成されているが、今回の会議は、中央アフリカ、エジプト、ハイチ、オートボルタの4か国が欠席し、23か国の参加をもって行なわれた。

第16回人口委員会の議長には、Mr. A. Chandra Sekhar (インド)が選出された。また、副議長には Mr. V. Wynnyczuk (チェコスロバキア)、Mr. K. T. de Graft-Johnson (ガーナ) および Mr. G. W. Roberts (ジャマイカ) が、ラポターには Mr. M. Boserup (デンマーク) がそれぞれ選出され、これら役員の下に議事は進行した。会議の内容は、本誌「資料」欄に詳細が掲載されているので、ここには Agenda を次掲するにとどめる。

1. Election of officers
2. Adoption of the agenda
3. Report on the progress of work
4. Population and the Second United Nations Development Decade
5. World Population Conference, 1974
6. World Population Year, 1974
7. Five-year and two-year programmes of work
8. Date and place of the next session
9. Adoption of the report of the Commission to the Economic and Social Council

(山口喜一記)

OECD人口プログラムの活動状況

OECD (Organisation for Economic Co-operation and Development, 経済協力開発機構) は、第2次大戦後、マーシャルプランにもとづくアメリカのヨーロッパ復興援助計画が実行に移されたとき、ヨーロッパ側の受け入れ組織として設立された OEEC (Organisation for European Economic Co-operation, 欧州経済協力機構) が発展して、1961年に設立されたものである。現在、加盟国は自由経済圏に属する主要な先進国23か国（日本は1964年に加盟）とユーゴスラビアが準加盟国となっている。

1962年にOECDの一つの機関として「開発センター」(Development Centre) が設立された。その主要な活動は、(1) 訓練コースおよびセミナーを設け、発展途上国からの研修生を訓練すること、(2) 発展途上国および開発援助問題などを研究し、他の類似の研究機関の研究を促進すること、(3) 他の類似の機関および発展途上国に対して諮問に応ずること、(4) 開発計画に関連する諸分野の情報交換を行なうための会議